

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年5月13日(2021.5.13)

【公表番号】特表2020-529859(P2020-529859A)

【公表日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2020-042

【出願番号】特願2020-507056(P2020-507056)

【国際特許分類】

A 24 F 40/46 (2020.01)

A 24 F 47/00 (2020.01)

H 05 B 3/12 (2006.01)

【F I】

A 24 F 40/46

A 24 F 47/00

H 05 B 3/12 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年4月5日(2021.4.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

この少なくとも一つのタバコ・加熱体連結部品は、有利には、丸められた形又はカールされた形で加熱ユニット内に配置することができる。そのようにして、HNBタバコ物品内に存在する構造空間の最適な活用形態を実現することができる。本発明の実施構成では、同じ目的で、特に、同心状に複数のタバコ・加熱体連結部品を加熱ユニット内に配置することができる。この場合、連結部品の電気接点は、有利には、加熱ユニット内の異なる、例えば、対向する周縁位置に配置することができる。それは、空気フロー内における作用物質成分の均一化に寄与することができる。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

HNBタバコ物品10の有利な構造が図5に図示されている。この実施構成では、円筒体に丸められた二つの連結部品26A, 26Bが使用されている。これらの連結部品26A, 26Bは、例えば、半径方向の四つのスペーサー29を用いて、有利には、同心状に円筒形の絶縁部品32内に保持されている。スペーサー29の数は、4よりも多く、或いは4よりも少なくすることができる。スペーサー29は、有利には、同じ角度間隔で、ここでは、90°で互いに配置されている。絶縁部品32は、HNBタバコ物品10の筐体11により形成することができる。それに代わって、特に、加熱ユニット13が交換可能な使い捨て部分である場合、絶縁部品32は、HNBタバコ物品10の筐体11と別個の部分であるとすることができる。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項11

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 1】

前記の少なくとも一つのタバコ・加熱体連結部品(26)が、丸められた形でか、カーリされた形でか、或いはその両方の形で加熱ユニット(13)内に配置されていることを特徴とする請求項1から10までのいずれか一つに記載の加熱ユニット。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項12

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 2】

複数のタバコ・加熱体連結部品(26A, 26B)が、特に同心状に、加熱ユニット(13)内に配置されていることを特徴とする請求項11に記載の加熱ユニット。